

【長い夏休みが終わりました】

7/24(水)からスタートした夏休み。学校には事故やケガ等の連絡もなく、本日9/3に18名の子供たちは元気にたくさんの荷物を抱えて登校してきました。保護者・地域の皆様のおかげで、無事に生活できたのだと思います。教職員一同、子供たちから休み中の様々な出来事を聞かせてもらうことが楽しみです。

今回は、夏休み特集号です。

町JRCトレーニングセンター参加

8月2日(金)、5・6年生4名が町内の小・中・高校生の代表が集まり、青少年赤十字活動について講話を聞いたり、他校の人と協力して体験活動をしたりする「リーダーシップトレーニングセンター」に参加しました。赤十字の諸活動についてお話を聞いた後、竹ひごを使ったグループワーク「竹ひごタワー」に取り組み、初対面の人たちと積極的に関わっていました。学校に戻ってくると、「知らない人と話し合いながら活動するのが楽しかった」「同じ事を今度学校でやってみたい」など、感想を聞かせてくれました。頼もしい5・6年生です。夏休み中にもかかわらず、学校まで送迎していただいた保護者の方にも感謝いたします。



職員研修「特別の教科 道徳」

8月9日(金)、那珂市立第四中学校の沼田義博校長先生をお招きして、「道徳の授業の進め方」について研修をしました。小規模校では、道徳の授業でたくさんの友達の考え方を聞くことができませぬ。どのようにして子供たちの考えを膨らませるか、いかにして様々な感情を引き出せるか、教師の発問(質問)の仕方、資料の在り方を学びました。

一言で「道徳」ということは簡単ですが、実はとても難しく、「道徳的に」「一般常識として」ではなく、「なぜダメなのか」「この人の心の中は・・・」等々、子供たちに様々な角度からものを見て考えてほしい授業でもあります。

子供たちの視野を広げ、心温かい人としての基礎を築けるよう、我々教職員も日々勉強して参ります。



救命救急講習会

8/9(金)、午後から大子町消防本部から講師の方をお招きして、救命救急法の講習会を行いました。学校では、いつ・どんな事故や事件、災害が起こるか予想が付きません。そのため、子供たちと一緒に避難訓練以外に、救命救急法の訓練を毎年実施しています。AEDを使った訓練では、毎年実施しているにもかかわらず、いざ体験してみると、胸骨圧迫の深さが浅かったりスピードが遅かったり、倒れている人の状況が変わると慌ててしまったりと、改めて日頃から訓練しておくことの大切さを実感しました。

本校では、職員室にAEDを設置しており、いざというときには誰でも使えるよう訓練しています。



のびっこ園の整備

みんなで野菜を育てているのびっこ園ですが、学校にある小さな耕運機では土を柔らかく耕すのが難しいため、夢道場アドバイザーの白井さんにトラクターで耕していただきました。小さな畑に大きな機械を入れてくださり、あっという間にふかふかの畑に生まれ変わりました。今後は、生産部を中心にどんな野菜をいつ植えるのかを相談しながら、秋の販売に向けて準備をしていきます。

次回の販売は、11月3日(日)の佐原地区産業祭の予定です。



